

|                  |   |
|------------------|---|
| <b>Title</b>     | 物語に学ぶ心の世界・再び実施結果：アンケート集計結果の概要（総合研究所N e w s ： 聖学院大学総合研究所 カウンセリング研究センター 主催 2015 カウンセリングシンポジウム）  |
| <b>Author(s)</b> | 聖学院大学総合研究所  |
| <b>Citation</b>  | 聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.25No.2, 2016.3 :48-50  |
| <b>URL</b>       | <a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=5625">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=5625</a> |
| <b>Rights</b>    |   |



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

# 総合研究所 News

## 聖学院大学総合研究所 カウンセリング研究センター主催 2015カウンセリングシンポジウム 物語に学ぶ心の世界・再び 実施結果-アンケート集計結果の概要

物語には不思議な力があります。

物語を読む度に、思いがけない発見をしますし、新しい感動を味わうことができます。

今回も、絵本や映画を手がかりに、身近な物語を味わい、その背後にある心や魂の世界を学ぶひとときとしたいと思います。

日時 2015年11月13日（金）14：00～16：30

場所 聖学院大学ヴェリタス館教授会室

### 【プログラム】

#### 開会挨拶

平 修久（聖学院大学副学長）

#### 講演Ⅰ 物語より 「軽いお姫様」

堀 肇（聖学院大学大学院非常勤講師、臨床  
牧会カウンセラー・スーパーヴァイ  
ザー）

#### 講演Ⅱ 映画より 「スピード」

藤掛 明（聖学院大学大学院准教授、同大学人  
間福祉学部こども心理学科 准教授）

講演Ⅲ 絵本より 「かいじゅうたちのいるところ」  
村上純子（聖学院大学人間福祉学部こども心理  
学科 准教授）

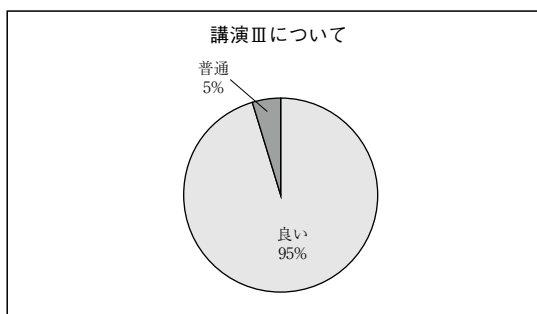
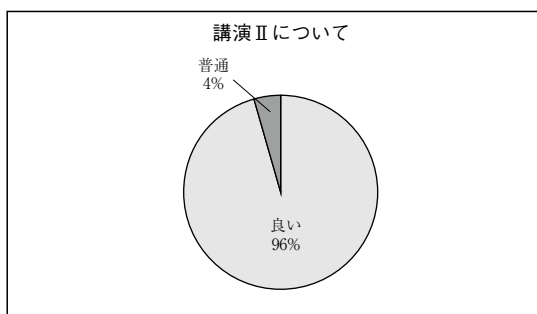
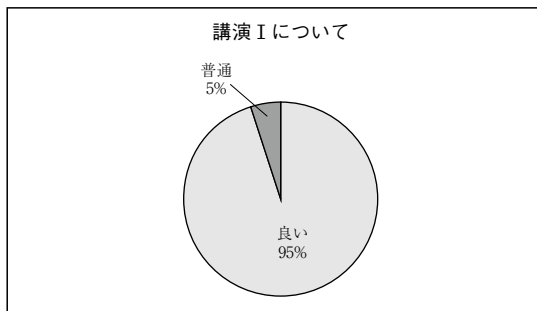
#### 司会

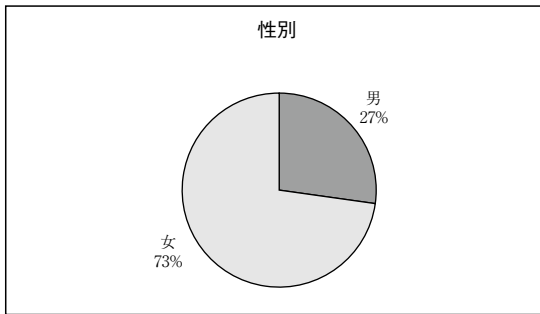
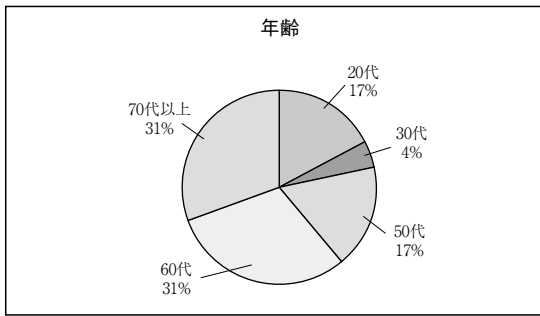
窪寺俊之（聖学院大学大学院教授、同大学人間  
福祉学部こども心理学科長）

#### 閉会

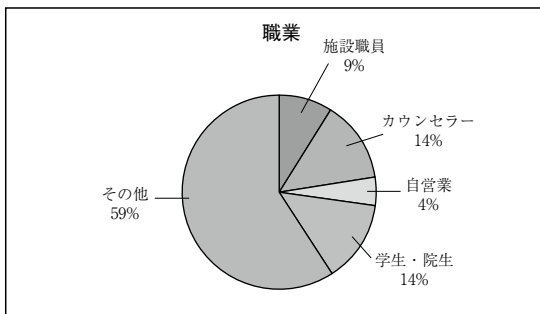
### 【結果の概要】

- ・参加者は46名。内、アンケート回答者は23名。
- ・回答者のプロフィールとして、「60代」「70代」で60%、「女性」が7割だった。
- ・講演について三講演共に「良い」という意見が95%と、高い評価を得た。
- ・自由意見として、「こんなに面白く、役に立つ、参考になる話が聞けるとは思わなかった」「勉強になった」「大変意義深い講演会だった」など。

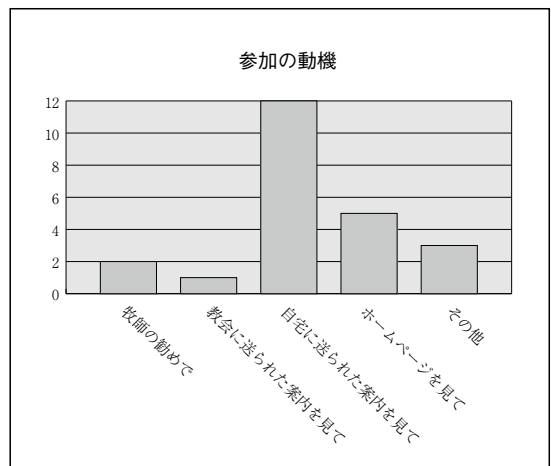




\* 回答者のプロフィールとして、年齢は「60代」「70代」が最も多く共に31%。  
性別は、「女性」が73%、「男性」27%となった。



\* 職業別では、「カウンセラー」「学生・院生」が14%と多かった。  
「その他」の内容は、「パート事務員」「看護師」「主婦」「アルバイト」など。



\* 参加の動機は、「自宅に送られた案内を見て」が最も多く、次に「ホームページを見て」となった。「その他」の内容は、「職場に送られた案内を見て」だった。

#### 今後の講演会についての希望

- ・ 今後のことはお任せいたします。また勉強させて下さい。
- ・ 「文学小説」から霊性の飢え渴きをテーマにしたカウンセリングシンポジウムなど。
- ・ 窪寺先生のお話を聞かせてください。また、カウンセリングとの繋がりや、清水正之先生（日本思想史）のお話が聞けたらうれしい。
- ・ 看護に使えるスピリチュアルケアについて知りたいです。
- ・ スピリチュアルケア

\* 終末期のホスピス、緩和ケアについて（本人・家族に対して）

\* 死別体験後のケアについて

- ・ 物語についてのつづきを希望。
- ・ 心理学関係が増えるとうれしいです。
- ・ 一つの物語について、たとえば3名の先生から異なる視点からの考え方、意見を聞くという集会を計画されては。と思いました。

#### 自由意見

- ・ 人が人間らしく生きていくために、心に「重さ」が必要であるということは救われる思いがします（悩みや悲しみ、苦しみをさけたいという誘惑がありますので）。

- ・今回、こんなに面白く、役に立つ、参考になる話がお聴きできるとは思っておりませんでした。
- ・今回のようなテーマでの講演は初めて聞きました。各物語は面白く、意味深く、示唆に富むものでした。勉強になりました。各先生方、大学に感謝します。
- ・大変意義深い講演会でした。もったいない気がしますので、もっと大勢の方々に聴講してもらいたいと思いました。
- ・一年ぶりに勉強の機会を得ることが出来て大変うれしく思いました。以前、物語から学ぶ深層心理の勉強会に参加していて再度、思い起こすことが出来ました。ありがとうございます。
- ・いつも楽しみにしています。参加でき、良かったです。藤掛先生の、5語り合う事の中で、聞きっぱなし、話しっぱなしの原則、ブログ、ネットの現代的な語り合いの形（新しい形）が今後大きくなっていくと感じた。手軽さの危険はあるが。
- ・絵本、児童文学は大人の心を和らげ、たくさんの示唆を与えてくれ、大好きです。これからはもう少し深く読み込んでみようかと思っています。
- ・3人のそれぞれの講師の先生のお話は、視点は異なる内容ではありましたが、「立ち止まる」大切が共通であったように思いました。  
藤掛先生の「語り合う（話し合う）ことで「走り回る人」を立ち止まらせることができる」というメッセージが心に響きました。
- ・一つの物語の中にたくさんの解釈があり、とても面白かったです。ありがとうございました。
- ・物語を読むおもしろさを知ることが出来ました。ありがとうございます。
- ・ありがとうございました。もっと物語に（聖書にも）興味を持ちたいと思いました。年齢に関係なく、童話、絵本にも。
- ・愛を知ることによって心を取り戻すこと、立ち止まる事の大切さ、その為には勇気が必要であり、自分は無力であることを認めることも大切だと教えられました。自分の人生は人にコントロールされるのではなく、偉大な方の助けにより切り開いて行く。そして、立ち止まっている時はそのプロセスが自分の成長の為に必要なこ

とと受け止め、語ることで、聴くことで、知恵を頂く人生を歩むことが出来るようにと思われました。

- ・それぞれの先生方の視点にとってもひきつけられました。興味深く聞かせていただきました。お話が始まる前に、概説でよいので、物語と心の世界がどのように結びついているのか、体系的といえますか、2つの関わり全体の全体像が見える説明をいただきたかったです。あつという間の時でした。ありがとうございました。
- ・今回は時間が短かったと思います。それと、質問に答えていただく前に、しかるべき方からの応答による吟味があったらと思いました。
- ・ご案内いつもありがとうございます。
- ・途中参加になってしまったのが、残念でした。